

# 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社環境レポート

## FUJITSU I-NETWORK SYSTEMS LIMITED. Environmental Report

# 2012



## 1. ごあいさつ

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社は、2005年9月、事業体を製造専門とし、富士通グループのネットワークプロダクトの製造拠点として再スタートし現在に至っております。本社工場は南アルプス市に在り、南アルプス、ハヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな中に位置しております。

早くからトヨタ生産方式をベースとした生産革新運動に取り組み、お客様の信頼にお応えすべく、徹底したQCD追及をものづくりの視点とし日々改善に努めております。

進化するITの中でお客様にとってネットワークの重要度はより一層高まっております。これまでの経験を生かし、ものづくりの会社としてお客様のご期待にお応えし自らも付加価値向上の追求を続けるべく一層努力してまいります。

昨年は東日本大震災の影響を受け、節電対策が急務になり、当社でもピーク電力の15%削減に対し各種取り組みを実行したことで20%を超えることが出来ました。また、今後も電力事情は厳しさを増しておりますが、全社一丸となって取り組みたいと思いますので、宜しくお願いいたします。



代表取締役社長 河田 経夫

## 2. 会社紹介

名 称 : 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

設 立 : 1943年10月18日 [株式会社長谷川電機製作所]

従業員数 : 330名 (連結:409名) (2012年3月31日現在)

事業内容 : 電子交換装置の製造、PBXの製造、ネットワーク端末機器の製造、  
マルチメディア関連機器の製造

### 3. 主な取り扱い製品

#### ■ IPテレフォニー



IP Pathfinder



RM10S



IP Pathfinder S



PSTNゲートウェイ



PHS電話機【E2】



PHS電話機【C4】



i-stationシリーズ



D-station50シリーズ



iss phone20シリーズ



LEGEND-V

#### ■ ルーター、ユニファイド コミュニケーション、新ノード



IPアクセスルータ  
Si-Rシリーズ



Cisco Systems社製  
CRS-1シリーズ



Cisco Systems社製  
ルータ ASRシリーズ



Cisco Systems社製  
Unified IP Phone



新ノード  
SBMシリーズ



Alcatel社製  
ALU 7750シリーズ



Aruba Networks社製  
アクセスポイント  
AP105/124XM

### 4. 環境方針

#### ■ 理念

当社は、気候変動対策や生物多様性保全を始めとした地球環境保全への取り組みを重要な経営課題であると認識し、IT企業としてその持てるテクノロジーと創造力を活かし、社会の持続可能な発展に貢献します。

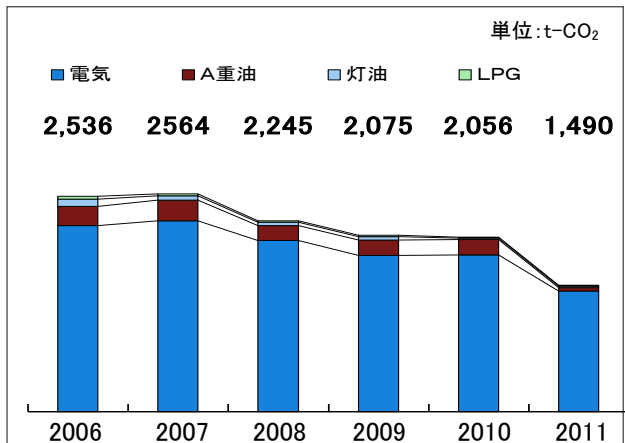
また、事業活動にかかわる環境上の法律や規範を遵守するとともに、人類すべての共通課題である地球環境を保全するため富士通グループの一員としての取組と地域社会の豊かな環境を維持する「山梨県地球温暖化対策」を実践します。さらに、低炭素で豊かな社会の実現に向けて、すべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追及していきます。

#### ■ 行動指針

- 製品のライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する。
- 省エネルギー、省資源および3R(リデュース、リユース、リサイクル)および有害化学物質削減を強化した「ものづくり」をする。
- 有害な化学物質や廃棄物などによる自然環境の汚染と健康被害につながる環境リスクを予防する。
- 環境に関する事業活動、製品およびサービスについての情報を開示し、それに対するフィードバックにより自らを認識し、これを環境活動の改善に活かす。
- 社員一人ひとりは、それぞれの業務と市民としての立場を通じて様々な主体と協働を図り、環境の改善に努める。
- 地域社会の豊かな環境を維持する「山梨県地球温暖化対策」を実践する。
  - ・森林の保全および整備等に関する対策として構内緑地の整備に努めます。

## 5. 環境負荷データの経年推移（主要な取り組み事例）

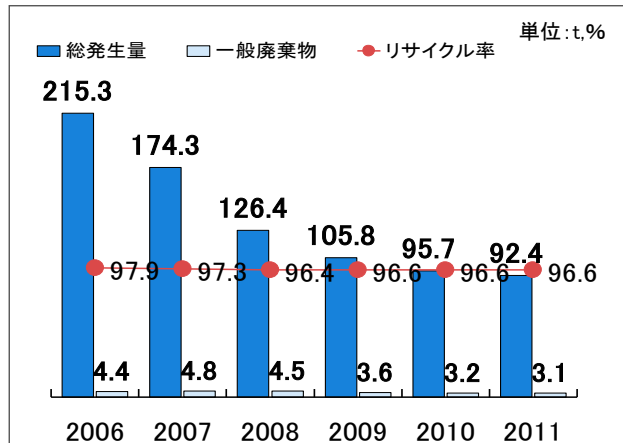
### CO<sub>2</sub>排出量



#### ★ 省エネ機器への更新

- ① 空調のヒートポンプ化
  - ・ 4棟/2006、3棟/2007、2棟/2008、2棟/2010、4棟/2011
- ② トップランナー機器への更新(変電所のトランス統合)
  - ・ 7→3台に/2009、8→3台に/2010、3→1台に/2011
- ③ 太陽光発電の設置
  - ・ 50kw/2011
- ④ 蛍光灯のLED化
  - ・ 1683本/2011

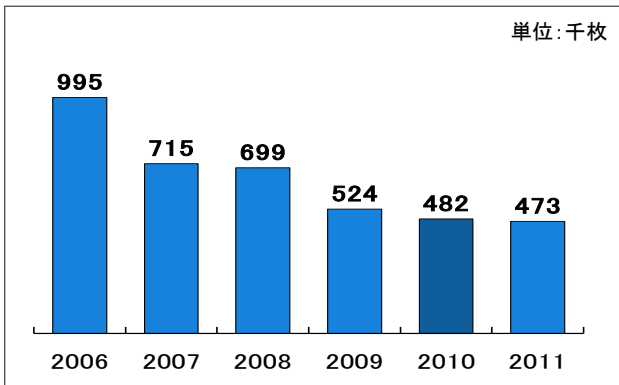
### 廃棄物



#### ★ 資源の再活用

- ① 有価物化の促進(分別の徹底)
- ② 取引先へ通箱拡大/木製パレット再利用の協力要請
- ③ 有価物化への取組推進

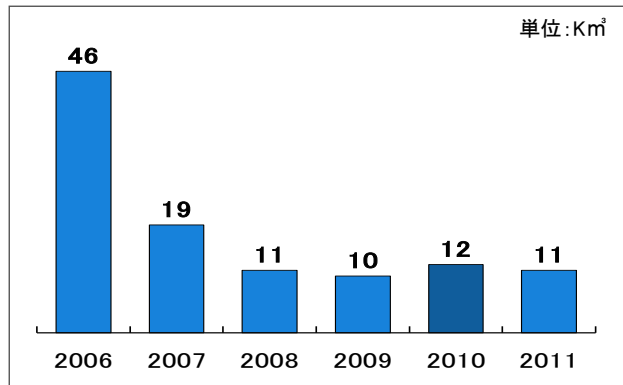
### コピー用紙の使用枚数



#### ★ ペーパーレス化への取り組み

- ① 各種説明会でのプロジェクター活用
- ② 裏紙/縮小コピーによる購入量抑制

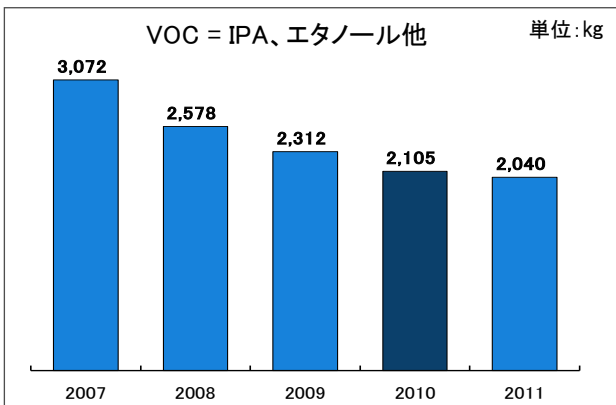
### 水の使用量



#### ★ 上水のムダ排除

- ① 漏水対策工事(第一期/2007.2、第二期/2007.7)
- ② トイレへ節水簡易装置設置

### 揮発性有機化合物(VOC)の購入量



#### ★ TPS手法の活用

- ① 代替溶剤へ切り替え(2007)
- ② 購入かんばんの採用(2008)
- ③ メタルマスク洗浄方法の改善(2008)
- ④ 洗浄方法の改善(2011)

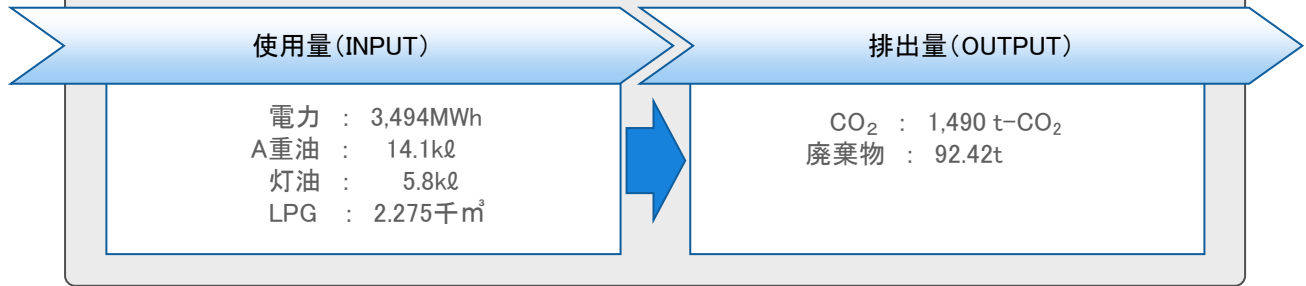
#### 省エネへの投資事例 太陽光発電の設置





## 6. マテリアルバランス

### 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社



## 7. 環境社会貢献活動

- 当社では工場周辺の清掃活動として「創立記念日」(10月)、「仕事納め」(12月)の機会を活用し2回/年実施しています。2011年度は第八回、第九回目であり、それぞれ参加者数は44名、49名、延べ93名です。



参加者の集合写真



清掃活動の様子

#### ★成果

- ① 第八回目・・・約4kg (アルミ缶/ペットボトル/ビン他)
- ② 第九回目・・・約5kg (アルミ缶/ペットボトル/ビン他)

#### ■今後の社会貢献活動の展開方針

- ① 清掃活動範囲の拡大
- ② 近隣の森林における間伐活動等への参画

## 8. エコキャップ運動

- NPO法人エコキャップ推進協会のペットボトルのキャップを外して集め、「再資源化」することで「CO<sub>2</sub>の削減」キャップの再資源化で得た売却益をもって「発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る」活動に賛同し、2010年度から当運動を本格的にスタートさせました(組合協賛)。エコキャップ推進協会に7月28日に提供しました。



NPO法人エコキャップ推進協会のポスター



エコキャップ回収BOX

#### ★成果

- ・ 提供数・・・ 48千個 (約120kg)
- ・ CO<sub>2</sub> 抑制・・・ 378kg-CO<sub>2</sub>
- ・ ポリオワクチン・・・ 60人分



## 9. 構内緑化活動

- 生物多様性保全を目的に2010年度より新入社員による植樹をスタートし、2年目を迎えます。



2011年新入社員による記念植樹



西1-2建屋間に芝生1600枚を植栽[約 220㎡]

## 10. 緑のカーテン・屋上緑化／遮光カーテン[節電対策]

- 生物多様性保全と省エネを目的に2010年度にスタートし今年で2年目となります。今年は西1・2号棟と範囲を拡大し実施しました。また、節電対策として遮光カーテンの設置をしました。効果はカーテンの内外温度差で約10℃でした。
  - ・ 従来のゴーヤ、きゅうり、ヒョウタンに加え西洋アサガオにもチャレンジしました。
  - ・ 東棟の屋上には初めて遮光カーテンを設置し、近隣の住民の方々など衆目的になりました。



東1号棟で屋上緑化を実施



西1・2号棟南側で緑のカーテンを実施



西2号棟南側での種まき作業風景



東棟南側・屋上の遮光カーテン

## 11. 環境に関わる法規制の遵守状況

法改正の速やかな把握により自社の事業活動に関わる法規制を確実に維持管理しています。  
また、法規制に基づく所轄官庁への報告等の実施等、法規制を確実に遵守しています。

### ■ 地下水／土壌対策

- 地下水:汚染なし(定期的に地下水モニタリングを実施)
- 土 壌:VOC、重金属の汚染を確認、拡散防止対策実施済

### ■ 騒音および振動の測定

当社は騒音及び振動の測定を敷地境界において定期的の実施しており、規制基準を遵守していることを確認しています。

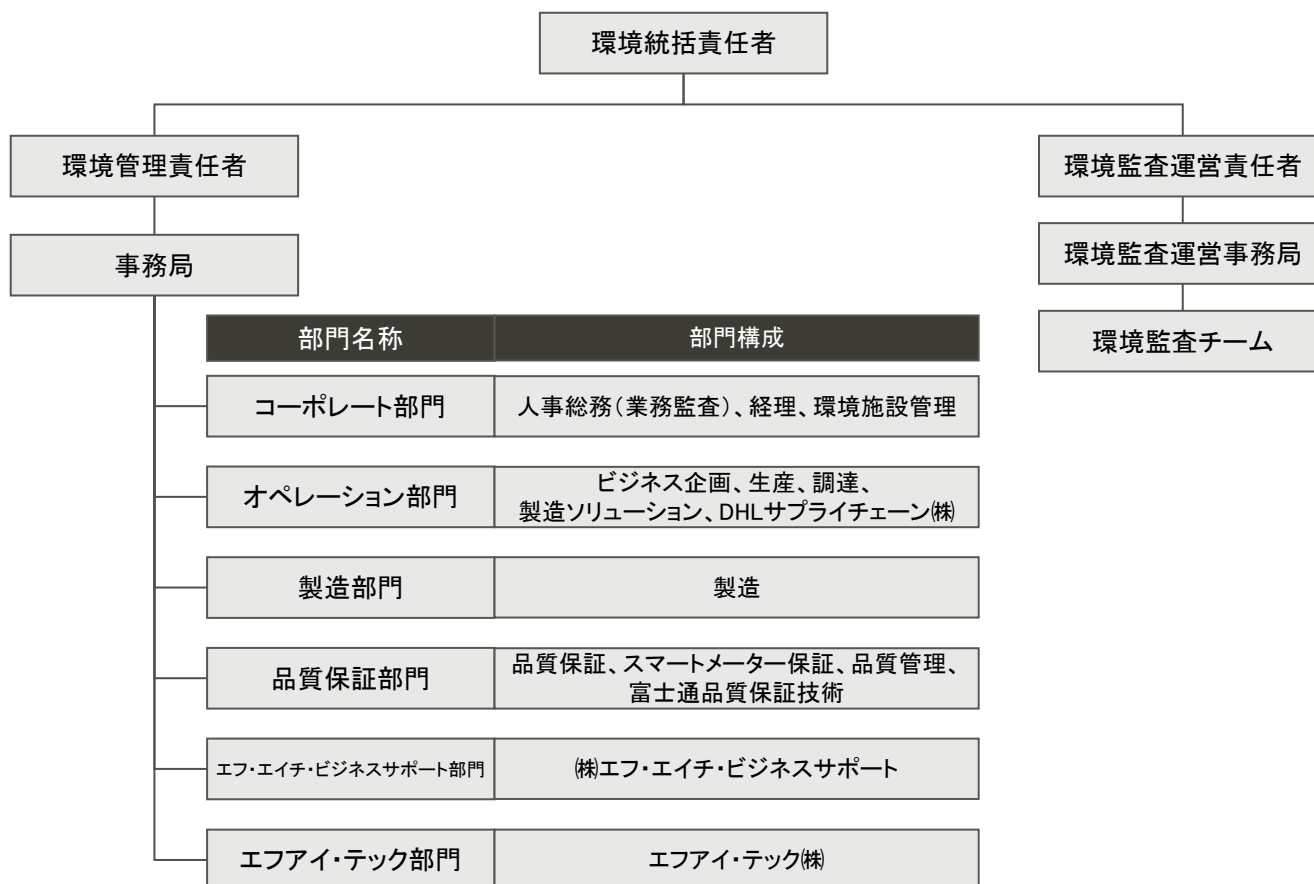
## 12. 環境活動の目標と実績

### ■ 2011年度の活動目標と結果報告

環 境 目 標 項 目		目標値	実績値	達成率
1-1	エネルギー全体(電力+重油+灯油+LPG)の使用量をCO <sub>2</sub> 換算で2009年度実績の1.5%削減[2,075t-CO <sub>2</sub> →2,044t-CO <sub>2</sub> ]します。	2,044 t-CO <sub>2</sub>	1,490 t-CO <sub>2</sub>	137%
1-2	副資材の使用に伴い発生するGHGを2012年度末までに2009年度実績比73.7%削減します。	73.7%	73.7%	100%
2	揮発性有機化合物(VOC)排出量を2012年度末までに2007年度実績比23%削減します。(2,832.5kg→2,180kg) ・[2011年度目標値:2,200kg]	2,200kg	2,039.7kg	108%
3	廃棄物の排出量を2012年度末まで2009年度実績(上期実績×2)[95.3t]を維持します。	95.3t	92.42t	103%
4-1	生物多様性保全に向けた構内緑化を推進します。	1件	1件	100%
4-2	社会貢献活動を年間3件以上実施します。	3件	3件	100%
5-1	全ての部材系取引先が運用する環境マネジメントシステムのレベルII(FJEMS認証取得)以上を維持します。	12社	12社	100%
5-2	生物多様性の取組みを実施する取引先からの調達を推進します。	16社	19社	119%
6	ステークホルダーへの環境情報の発信強化を図ります。	1件	1件	100%

## 13. 環境活動に対する対象組織

■ 組織構成は5社、498名(2011.3.31時点)となっており、活動体制は下図の通りです。



## 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

お問い合わせ先

〒400-0226 山梨県南アルプス市有野3346  
TEL: 055-285-0383 FAX: 055-285-0314

発行責任者 河田 経夫

編集責任者 青木保志

発行年月日 2012年4月

記載事項対象期間 2011年4月～2012年3月

報告URL: <http://jp.fujitsu.com/group/finet/eco>

